

さらなる **利益体質** **リスク対応力** のある企業をめざす

# ISO 認証取得 ご支援プラン

人材育成に「困った!？」時は、  
パナソニック エレクトリックワークス創研ホームページへ  
人材育成についてのご相談を承っています！

<https://panasonic.co.jp/ew/pewbct/>

パナソニック 創研

検索



よい製品・  
サービスを提供  
し続けたい

**品質**   
**ISO9001 : 2015**  
**IATF16949:2016**

顧客満足を  
向上させたい

社員の  
品質意識や  
モラルを向上  
させたい

認証を取得して  
企業イメージや  
信頼感を高め  
たい

社内での  
認証取得の  
効率化を  
はかりたい

**環境**   
**ISO14001 : 2015**

経営を効率化し  
利益体質の  
会社になりたい

緊急時対応力を  
強化したい  
(台風・洪水)

環境に  
やさしい会社  
として社会に  
貢献したい

**労働安全衛生**  
**ISO45001 : 2018 など**

労働災害を  
減らしたい

社員の  
安全意識を  
高めたい

安全衛生活動を  
定着させたい

お問い合わせ

ご質問・ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。  
パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社

西日本営業推進センター TEL. **06 - 6907 - 5534**  
東日本営業推進センター TEL. **03 - 3507 - 7630**

パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社

西日本営業推進センター

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

TEL: 06-6907-5534 FAX: 06-6907-3426

東日本営業推進センター

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6

TEL: 03-3507-7630 FAX: 03-3507-7631

Panasonic Electric Works Business Consulting & Training Co., Ltd.

本書からの無断の複製は固くお断りします。

このチラシの記載内容は2024年4月現在のものです。

## 審査経験の豊富な講師陣が、お客さまの認証取得をサポート

- ◆日常業務に密着した「ムリなく、ムダなく、シンプルでわかりやすい」マネジメントシステムを構築します。
- ◆「認証を取得すれば終わり」ではなく、「認証取得を通じてお客様の活動の向上」を目指します。
- ◆認証取得後も、その体制を維持するための支援を継続します。

認証取得は、それ自体は「目的」ではなく、企業経営の革新や社員の問題意識を高めることを通じて、企業の業績、信頼性を高めるための手段です。しかし、現実には認証取得が目的化してしまい、運用が日常の仕事のさまたげになっているという現場の声をよく聞きます。認証取得と運用に関する基礎的な知識・ノウハウを習得し、認証取得を通じて組織や仕事のプロセスを変革。継続的に収益を生み出していくにはどうすべきかを軸に支援します。

### 【支援メニュー】

#### ■ISO 認証取得までの トータル支援

#### ■テーマ別個別支援

要求事項解説研修（1日）  
内部監査員養成研修（2日間）

#### ■認証取得後の継続推進支援

貴社の状況・ご要望に応じて支援内容・支援日程・カリキュラムなどカスタマイズいたします。認証取得（規格移行）に関するご相談、マネジメントシステムの統合に関するご相談などお気軽にお問い合わせください。

## 品質

### ISO9001 : 2015

組織のビジョンやねらいに沿った品質方針・目標を定め、それを達成するために、プロセスアプローチ、リスクに基づく考え方やPDCAサイクルなどを規定した品質マネジメントシステムに関する国際規格です。

顧客や市場のニーズに応え顧客満足度を高めること。そしてそのために製品やサービスの品質をマネジメントし、組織としてプロセスの運用、継続的な改善をはかっていくことは、非常に重要な課題です。

### IATF16949

自動車部品のグローバル調達基準を満たす自動車業界向けの品質マネジメントシステム規格です。

導入による メリット	メリット1 品質向上	メリット2 顧客満足度 向上	メリット3 業務効率化	メリット4 ブランド イメージ向上
---------------	---------------	----------------------	----------------	-------------------------

## 環境

### ISO14001 : 2015

「環境保全」「法規制の遵守」にとどまらず、自主的、積極的、かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格です。

企業の活動が環境に与える負荷をどう低減していくのか。環境が企業に与える影響にどう対応していくのか、またそのことを通して企業体質強化をどう図るのかは重要な課題です。

導入による メリット	メリット1 環境事故の 低減	メリット2 緊急事態への 対応力強化	メリット3 ムダ・ロス 改善	メリット4 環境配慮 商品の創出
---------------	----------------------	--------------------------	----------------------	------------------------

## 労働安全衛生

### ISO45001 : 2018

経営トップの方針のもと、労働現場の安全と環境衛生をまとめて管理するためのマネジメントシステムです。

ISO45001:2018 労働安全衛生に関する初の国際規格  
JISHA 方式 \*1 厚生労働省のガイドラインに基づいた審査認証

労働災害を未然に防止するためのさまざまな取り組みについて「無災害の職場づくり文化の醸成」という考え方が浸透してきています。

導入による メリット	メリット1 労働災害・ 傷病の予防	メリット2 管理体制の 整備	メリット3 労働生産性 向上	メリット4 安全意識 向上
---------------	-------------------------	----------------------	----------------------	---------------------

\*1：JISHA（中央労働災害防止協会）

## 事例のご紹介

照明器具設計・開発及び製造業様

### 課題

#### ①顧客からの ISO9001 認証取得要望

顧客要望より、ISO/TS16949（自動車生産及び関連サービス部品の組織の品質マネジメントシステム）に関連して、ISO9001 認証取得の要望があった。

#### ②マネジメントシステムの更なるレベルアップ

ISO14001 を認証取得から9年経過し、組織的運用も定着が図れてきた。会社の持続的発展のため、環境に加え、品質を軸としたマネジメントシステムを見える化し、更なる顧客満足度の向上する必要がある。

#### ③中堅管理監督者のマネジメント力の育成・強化

### 効果

#### ISO9001 認証取得

- 「ISO に取り組むことが会社の利益につながる」ということが、全社員で認識でき、ベクトルを合わせた活動ができるようになった。
- 品質マネジメントシステムの見える化により、トップマネジメントからの指摘、指示が的確かつ迅速に行われるようになった。
- 予防処置的な見方、考え方が重要であることの認識が醸成されてきており新商品開発段階、量産段階でトラブル未然防止活動が活発になってきた。
- 本社、拠点の工場を含めた会社全体での認証取得により内部コミュニケーションが円滑となり、お互いの良いところ取りが出来るようになってきた。
- 責任と権限が明確にでき、管理監督者のマネジメント力の強化が図れた。

#### コンサルタントからの一言

品質マネジメントシステム構築のための支援訪問では、責任者全員参加による活発な議論が行われ、日常業務の実態に即したシステムが出来上がったと思います。ISO9001 認証取得は出来ましたが、持続的発展を成し遂げていくためにはこれからが大事です。常にカイゼンする会社として頑張ってくださいと思います。



## コンサルティングの標準フロー

